

## 事業実績書

|      |  |  |
|------|--|--|
| 事業名  | 『ママが働く』 ことについて考えよう Vol.2   |  |
| 場所   | 沼津御用邸：第一学問所（講座）、第二学問所（託児）  |  |
| 期間   | 平成 30 年 10 月 10 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日   |  |
|      | 日程   | 実施項目・作業項目  |
| 事業内容 | <p>※ 実施内容、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、スケジュールも併せてわかりやすく記載してください。<br/>イベントや研修会等の行事日程だけでなく、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。<br/>(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会など)</p> <p>2018/4月 大まかなテーマについてワーキンググループでミーティング。ロールプレイングを取り入れ、復職再就職など個々の設定でモデルケースを用いて検討する企画として決定した。</p> <p>2018/9月 ご協力いただくマックスバリュー東海人事部様と打合せ。</p> <p>2018/9/25 同じテーマの企画「ママが働くことについて考えよう@伊豆」が終了し、沼津での vol2 開催にあたり、問題点の洗い出し。<br/>その後、企画の詳細決定。</p> <p>2018/9月 チラシ制作依頼。</p> <p>2018/10/10～ ベビー&amp;キッズフェスにてチラシ配布開始。他、順次配布。</p> <p>2018/11月 ママとねサイトにイベント広報ページ制作</p> <p>2018/11/7 ママとねサイト、facebook、LIN 等で広報開始、講座申込み開始</p> <p>2018/12/10 『『ママが働く』 ことについて考えよう Vol.2』開催。参加者 15 名</p> <p>再就職時や復帰時を想定した各モデルケースについて、ロールプレイングの手法を用いたワークショップ。「再就職／復職時の上司との面談」「家族に再就職／復職に際して協力要請をする際の、家族とのやりとり」という 2 場面のロールプレイを通して、何が不安か、面接の時に何をどう伝えるか、家族にどう話すかどう協力を得るか、そもそもなぜ働きたいのか、等々自分に向き合い、さらに意見交換をしながら各自の考えを整理した。</p> <p>さらに前向きに一步を踏み出せるよう、ママパネリストからのアドバイス、企業側からの考えを拝聴する時間もロールプレイの合間に挿入した。</p> <p>最後に出産後の復帰が非常に難しいと言われている飲食業界でワークシェアという方法で活躍している日本ウーマンズシェフズ&amp;パティシエ協会に依頼したお弁当でランチ交流会を開催。協会側からも、女性の復職の苦勞、コツなどを先輩ワーキングマザーとして語っていただいた。<br/>(写真添付あり)</p> <p>2018/12/18 静岡新聞に講座の様子が掲載された。</p> <p>2019/1月 ママとねウェブサイトで、今までの講座内容を記事化して発信するために、新たにディレクション担当を採用し、記事内容の構成について打合せ開始。</p> <p>2019/3月 記事（連載シリーズ）の大まかな構成につき、ドラフトを作成。現在、さらに詳細を検討している段階である。</p> |  |
|      | 事業効果   | <p>※ 事業の効果を記載してください。<br/>ソフト部門のステップアップ型事業・ハード部門 4 事業については、事業計画書において設定した、成果指標と数値目標による評価を記載してください。</p> |

|                |   |
|----------------|---|
|                | <p>参加者からは、ロールプレイだったので、ママ役になった方からは、「実際に説明しようとする、案外言葉が出ないことがわかった」「役になって回答する中で、自分の考えが整理されてきた」また、オブザーバー役・企業側の役となった方からは「自分の思いもしなかった観点を知ることができて非常に有意義だった」「そういう考えもあると初めて気が付いた」「よい点はぜひ自分の実際の場面でも取り入れていきたい」など具体的に自分事として捉え考えることができたことを伺われた。</p> <p>また、先輩ワーキングマザーである、ママパネリストからの、具体的な、勤務先でのコミュニケーションのコツ、仕事の段取りのコツ、家族の協力を仰ぐためのポイントなどのアドバイスは、非常に訊にたったという感想が数多く寄せられた。</p>  |
| <p>今後の活動予定</p> | <p>今回まで、『ママが働く』ことを考えよう」というテーマの講座は、当団体で5回開催しており、さまざまな知見や、ママたちの本音が蓄積されてきた。そこで、これを実際の講座に参加できなかったが情報が必要な方、講座終了後に興味をもった方にも届けていくために、当団体ウェブサイト、今までの講座を基にして、シリーズ化した記事を作成発信する予定で、現在、プロのディレクターとともに準備中である。</p>   |
| <p>自己評価</p>    | <p>沼津開催としては vol. 2 となった今回の講座だが、初回は、復職や再就職に伴う一般的な問題点を丁寧に洗い出すことに主眼を置いたが、今回は、より自分事としてとらえるために、新たにロールプレイングの手法を取り入れたことは、非常に効果があったと考える。</p> <p>役の中ではあるが、自分で考えを他人に述べるということで自分の思いに向き合い、また、それをオブザーバーの立場で冷静に観察することで、自分の事だとかえって複雑になってしまっていて見えにくい、大切な点、不十分な点などが把握できたと、参加者の感想からうかがえる。</p> <p>講座を開催した、ということで終了にせず、これをウェブ記事化して広く発信することで今までの講座が今後も十分生きてくると自負している。</p> <p>反省点としては、当団体の講座としては5回目だったため、過去の講座との違いを事前に効果的に発信することができなかった点があげられる。ここがクリアできれば、もっと多くの方にご参加いただけたのではないかと考えている。</p> |

